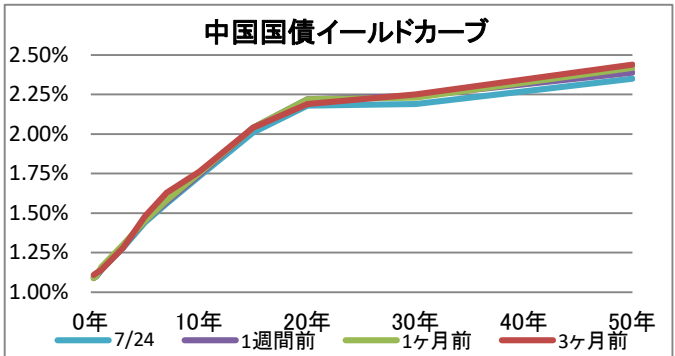
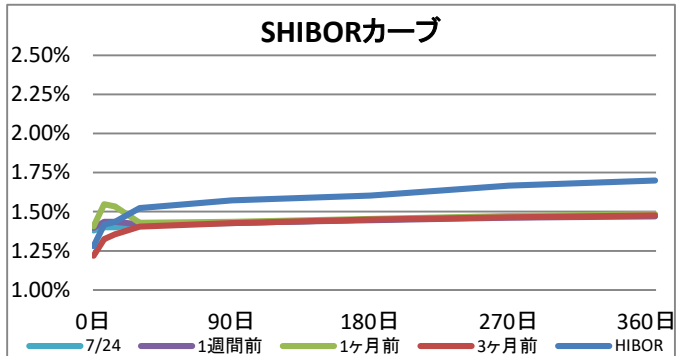


1.市場概況

基準レート		2026/7/24	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.7939	+0.0005
	JPY/CNY	4.1447	-0.0364
SHIBOR	3M	1.4280%	-0.0020%
国債利回り	10年	1.73%	-0.01%
上海総合指数		3,814.20	+50.04



(1) 概況

国際金融市場は、中東での紅海封鎖懸念により原油価格が急騰し、米新規失業保険申請件数が予想を大幅に下回るとFRBの早期利上げ懸念から債券市場は下落基調を強め、株式市場はハイテク企業の巨額投資への懸念も加わり値重く、外為市場では有事のドル買いが強まり、金とビットコインは買戻しからの反発後に上げ幅を縮小する展開となった。

中国金融市場では、株式市場は前週末の急落を受けた証監会の支援姿勢と国家隊による買いにより反発したものの、ハイテク株の下落により上げ幅を縮小し、債券市場は原油価格急騰による海外市場の下落（利回り上昇）と、政治局会議での景気支援政策や金融緩和等への期待から様子見となって小幅な値動きに終始し、外為市場では有事のドル買いと元高期待が拮抗し、1ドル＝6.76台に下落後に6.77台に戻す極めて小幅な値動きに終始。

中国では、習主席が、就任後10年を経過したグテーレス国連事務総長との会談で、国連の地位と役割を高める支援を継続する方針を示し、国内では基礎教育活動における党の教育方針徹底や道徳重視の人材育成の必要性を訴え、李強総理は、国務院常務会議で、サービス業の規模拡大・質の向上や6つのネットワーク（電力網、通信網、物流網等）構築に関する状況を確認し、財政部・藍部長は、「財政・金融連携による内需促進の包括的政策の実施」を人民日報に寄稿し、政策協調による内需拡大の必要性に言及。商務部は、流通システムの構造転換を通じて、生産と消費を繋ぐ役割を更に発揮させ消費拡大等を推進する方針を示し、「グリーン消費試行業務に関する通知」では、グリーン製品供給の拡大、グリーンサービス消費の質向上、グリーン消費モデルの革新等を推進する措置を示し、証監会・呉主席は、多様な投資家代表との会議を主宰し、市場の安定維持や投資家へのサービス水準向上、投資家保護の仕組みを継続的に改善する旨を表明し、証監会は、株式市場の変動を受けて市場安定会合を開催し、その後、中国政府系ファンド会社が国内株の追加購入を表明し、上海先物取引所に熱延コイルとステンレスのオプション上場を承認。なお、中国人民銀行は、最優遇貸出金利（LPR、1年物3.0%、5年物以上3.5%）の14カ月連続据え置きを決定。6月末の海外投資家による国債保有高は3.2兆元（約76兆円）と、前月比微減に転じた。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日19,635億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金期日1,000億元に対して、リバースオペ10,205億元、MLF5,000億元、中央国庫現金管理商業銀行定期預金2,500億元（1M1,000億元、3M1,500億元）を実施し、2,930億元を吸収。また、7月末の資金供給に関し、6月末に開始した翌日物リバースレポにより、7月29日から31日に各6,000億元、8月3日に3,000億元を入札により供給することを公表している。

(3) 主な経済指標

・特になし。

2.資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	1.3812%	1.4200%	1.4007%	
1W	1.4000%	1.4400%	1.4164%	1.3700%
2W	1.4000%	1.4300%	1.4337%	1.4000%
1M	1.4180%	1.4100%	1.4333%	1.4000%
3M	1.4280%	1.7500%	1.4500%	1.4300%
6M	1.4500%	1.6700%	1.5500%	1.4500%
9M	1.4691%	1.4691%		1.4700%
12M	1.4791%			1.4800%

中国人民銀行は、前週の大規模な資金供給増による資金需給の改善を確認すると、やや大幅な資金吸収に転じたが、金利水準は低位で安定しており、ターム物は、1カ月が1.4%台半ばで出合っている。

NCD市場の金利水準も、前週末の水準から概ね変化なく、ターム物の金利水準は1カ月から5カ月（12月末）までが1.4%台前半、6カ月が1.45%前後、1年は1.4%台後半で取引されている。

(2) ミドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	3.65%	3.66%
1W	3.80%	3.82%
1M	3.85%	3.90%
3M	3.85%	3.95%
6M	4.00%	4.10%
12M	4.10%	4.20%

中国国内市場では、引き続き短期の需給に問題なく、利上げ懸念から出し手が限定的な状況に変化なく、ターム物は1カ月の3.8%台前半での出合いが中心。

3.人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.10%		1.43%	1.47%	1.53%
6M	1.10%		1.44%	1.49%	1.56%
1Y	1.14%	1.22%	1.48%	1.53%	1.60%
3Y	1.28%	1.38%	1.54%	1.63%	1.76%
5Y	1.44%	1.52%	1.62%	1.74%	1.98%
10Y	1.73%	1.82%	1.98%	2.08%	2.55%

米国債券市場は、中東情勢悪化による原油価格の上昇が続いて下落基調を強める中、新規失業保険申請件数が予想を大幅に下回ると、早期利上げ懸念も高まり、一段と下押し圧力が強まり、利回りは大幅に上昇していたものの、米イランの和平協議再開への中国の仲介が伝わると原油価格が上げ幅を縮め、債券利回りも上昇幅を若干縮小して週末を迎えている。

中国債券市場は、中東情勢悪化による海外市場下落（利回り上昇）の影響と政治局会議における景気支援策や金融緩和への期待が拮抗し、方向感のない小幅な値動きに終始。

この結果、10年米国国債利回りは4.68%（前週末比+12p）に上昇する一方、10年中国国債利回りは1.73%（同-1bp）に低下したことから、利回り差は295bp（同+13bp）に再度拡大に転じている。

4.先物為替市場

	USD / CNY
1M	-148.0 / -147.0
3M	-443.0 / -442.0
6M	-912.0 / -910.0
9M	-1,380.0 / -1,378.0
12M	-1,861.0 / -1,858.0

対ドル基準レートは6.7939と前週末比+5pipsのドル高元安、対円基準レートは4.1447と同-364pipsの円安元高と、対ドル基準レートは、2023年2月以来の元高水準ながら、実勢比では元安水準での設定が続いている。

中国国内市場では、中東情勢不安の強まりや原油高といったドル高要因はあるものの、堅調な輸出や政治局会議での政策発動への期待に加えて、中国人民銀行による基準値設定が緩やかな元高を容認するものとの認識から、週初の1ドル＝6.77台から6.76台半ばにやや元が強含んだ後に、中東情勢の緊迫感が高まるとドルの下値が堅くなり、6.77台に戻す狭いレンジ内での取引に終始。

先物は、中東情勢懸念が一段と高まり原油価格の上昇が続いてドル金利が上昇した一方、人民元金利は小幅ながら低下したこともあり、直物市場の水準に大きな変化はなかったものの、ディスカウント幅はじりじりと拡大し、1年物は週初の-1,700台後半から-1,800台半ばに下落している。

5.金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	1.43%		1.42%
6M	1.43%	1.45%	1.42%
9M	1.42%	1.46%	1.41%
1Y	1.42%	1.46%	1.39%
3Y	1.44%	1.49%	1.45%
5Y	1.50%	1.55%	
7Y	1.55%	1.62%	
10Y	1.62%	1.70%	

金利スワップ市場は、債券市場が中東情勢悪化による海外市場下落（利回り上昇）の影響と政治局会議景気支援策や金融緩和への期待が拮抗し、小幅な値動きとなったことから、スワップレートも概ね前週末の水準での小幅な値動きとなり、スワップスプレッドも概ね変化なし。